

<http://aoba.kgnet.gr.jp>

神奈川ネット



青木マキ 前横浜市会議員



横浜市会議員 平田いくよ

未来へつなげる♪ エネルギーアクション

ネット青葉では、生活クラブ生活協同組合が取り組む「未来へつなげる♪エネルギーアクション!」に賛同し、国への意見書提出に向けて署名活動に取り組んでいます。

今年、3.11 東日本大震災から10年。東京電力福島第一原子力発電所事故からも10年という節目の年です。国では、第6次エネルギー基本計画の改定に向け議論が進められています。廃炉の見通しも立たない中で、漁業関係者をはじめ国内外で広がる多くの反対や懸念の声を無視し汚染水の海洋放出が決定されました。改めて、エネルギー計画においては、原子力発電の即刻

廃止を求めています。また、脱炭素に逆行する石炭火力からの脱却を進め、持続可能な再生可能エネルギーへ舵を切らねば、世界からも取り残されてしまいます。以下の項目を求めていく署名活動にぜひご参加ください。



2030年度の再生可能エネルギー電力目標を60%以上に、2050年度は100%を求めます

要望事項

1. 2030年エネルギー基本計画で再生可能エネルギー電力目標を60%以上、2050年度は100%とすること
2. 巨大なリスクを抱える原子力発電は即刻廃止し、石炭火力発電は段階的に縮小し2050年までに廃止すること
3. 脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギー主力電源化の実現にむけた推進と政策転換を早急にすすめること

署名用紙をご用意しています。

お問い合わせ: net-aoba@nifty.com

オンライン署名は6月4日まで、[こちらから](#)→



家庭においては、新電力への切り替えは、ようやく2割という状況です。まだまだ私たちにもできることがある！パワーシフトと、家庭や事業所のエネルギーを見直すことから、取り組んでいきます。

「ぶらちエネルギーワークショップ リターンズ」開催します。詳細は、HPをご覧ください。

平田いくよの市議会レポート

予算議会で更なるコロナ対策を提案

新型コロナウイルスのワクチン接種を巡っては、供給量の確保に目処が立たず、国の方針や説明も二転三転し、自治体もその対応に苦慮してきました。医療や介護の体制の確保に向けた課題も山積しています。これらの対策として予算委員会で提案しました。横浜市としては、国の動向に応じた検討課題との認識ですが、引き続き実現に向けて取り組みます。

◆医療従事者の確保に向けて、潜在看護師の復職に向けた研修制度を提案

すべての看護師が、人工呼吸器や ECMO* の操作や、療重症患者ケアに熟練しているわけではなく、日々緊張感の中、従事しています。

看護師不足の背景には、スキルが高い看護師の確保の難しさがあり、離職を防ぎつつ、柔軟に配置する仕組みづくりが欠かせません。今後の体制整備、医療従事者の確保に向けて、とりわけ潜在看護師の活用方策として、eラーニングの教材を活用した復職に向けた研修制度なども検討すべきです。

◆在宅支援を担う介護・福祉従事者のワクチンの優先接種や

PCR 検査への取り組みを！

ヘルパーには、在宅の要介護高齢者が新型コロナウイルス感染症に感染し、やむを得ず自宅療養を行う場合に、生活に必要なサービスを提供することが求められています。しかし、在宅サービスの従事者は、ワクチンの優先接種を認める介護職の対象からは除外されています。高齢者施設職員に対する PCR 検査についても、在宅サービスの従事者は対象外とされています。要介護高齢者のおよそ7割は在宅介護であり、感染を拡大させないためにも、必要な介護が提供されるためにも公的支援が必要です。



*横浜市では、5月17日の週から集団接種を開始、個別接種（病院及び診療所）は、6月以降開始予定です。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/vaccine/vaccine-01.html>

横浜市ワクチン接種



*ECMO：人工肺とポンプを用いた体外循環回路による治療

横浜市長選挙の投開票日が

8/22(日)となりました。

これからも安心して

暮らし続けるために

もうすぐ
市長選挙！

「こんな横浜にしたい！」

ひとこと提案を募集します。

(例)・新型コロナへの対応が充実した横浜

・カジノに頼らない横浜

・歳をとっても安心して暮らせる横浜

・子育てしやすい横浜・・・等々

100字以内で、

フォームまたはメール、FAXでお寄せください。

締め切り：7月10日

寄せられた提案は、ネット・青葉ホームページ

等で公表し、市長選候補者に届けます。

フォームはQRコードからどうぞ→

メール：net-aoba@nifty.com

FAX：045-508-9474



大募集！

余っている食品を提供 してください

フードドライブ 実施中

ネット・青葉も連携する団体「フードシェア・青葉」では、ただいまフードドライブを実施しています。コロナ禍の中、生活に困窮される方が急増し、継続的な支援が求められています。

「食べきれない頂きもの」「買い過ぎちゃった食品」「備蓄品の入れ替え品」などの提供をお待ちしています。※品目など詳しくはお気軽にお問い合わせください。毎月集めた食品は、「青葉フードシェアネットワーク」を通じて必要な方々へお渡ししています。

提供方法：スタッフが受け取りに伺います。また、宅配便（元払い）での提供も受け付けております。お気軽にご連絡ください。

メールアドレス：fs.aoba@gmail.com

電話：080-3595-2203

締め切り：6月30日まで

(※上記期間外もお問い合わせください)



フードシェア・青葉